

自らよりよい生き方を追求し続ける子どもの育成

～子どもが自分事と考え、「そういえば!」を生み出し、つながり合う学びの工夫～



視 点

視点1 「そういえば!」を想起する振り返りの場の設定

視点2 対話を通したつながり合いの工夫



研 究 の 実 際



視点1 「そういえば!」を想起する振り返りの場の設定

- ・ 導入での「そういえば!」
- ・ 展開での「そういえば!」
- ・ 環境での「そういえば!」

いつでも
自分事

視点2 対話を通したつながり合いの工夫

- ・ 価値について理解する
- ・ 自己を見つめる
- ・ 多面的・多角的に考える
- ・ 自己の生き方についての考えを深める **ための対話**

対話の目的



取組の成果

- ・ アンケートを活用して自分事にできた!
- ・ 具体的な場面を想起できた!
- ・ 環境整備で学習と意識的につながりを持てた!
- ・ 目的意識を持った対話で焦点化ができた!
- ・ 思考ツールによる可視化で思考と対話が広がった!
- ・ 「そういえば!」を使うことによって学習の積み重ねが繋がった!



これからの取組



- ・ その場で生活経験を語るができる手立て
- ・ 学んだことを持続的に積み重ねる環境整備
- ・ 対話の必然性がある学習課題の設定
- ・ より主体的な対話活動にするためのねらいの焦点化